

横須賀市中小企業景況レポート

第40号（令和4年10月号）

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課
〒238-8550 横須賀市小川町11
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページ（下記）からもご覧いただけます。】

[横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市](#)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：162社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査147社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和4年4～6月の景況感（調査時点 令和4年6月1日）
今期・・・令和4年7～9月の景況感（調査時点 令和4年9月1日）
次期・・・令和4年10～12月の景況感（調査時点 " ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：D I 値算出による（次ページにD I 値の説明あり）

景況及び4項目の調査結果（全業種）

* D I 値調査結果は裏面に記載

* 【 】は今期のD I 値を記載

全業種の景況感は、前期の△17Pから4P向上し、【△13P】となりました。

今期の景況感は、建設業【△15P】、卸・小売業【△6P】が、それぞれ12P、21P大幅に向上しましたが、製造業【△15P】は、15P大幅に低下しました。

項目別では、売上額【△8P】、収益【△18P】がそれぞれ7P、8P向上しましたが、雇用人員【△33P】、資金繰り【△19P】は、7P低下しました。

昨年同期（令和3年7月～9月）との景況感比較は、「良い」の割合がやや減り、未だ「悪い」が3割を超え、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢、原材料価格高騰等の影響で引き続き厳しい状況です。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値がDI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

良い (15P以上)	やや良い (6P～14P)	変わらない (△5P～5P)	やや悪い (△6P～△14P)	悪い (△15P以下)
↑	↗	→	↘	↓

業種別 調査結果と事業者の声

*DI 値調査結果は裏面に記載

*【 】は今期のDI 値を記載

(1) 製造業 景況感 【△15P <悪い> ↓】（前期比 △15P）

前期と比べ、売上額【△8P】、収益【△6P】が、それぞれ15P、21P大幅に向上したものの、景況感【△15P】は、原油価格の高騰などによるコスト負担の増加が企業マインドを押し下げ、前期より15P低下しました。雇用人員【△37P】、資金繰り【△18P】はそれぞれ6P、7Pやや低下しました。

次期は、売上額と収益が低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・売上げの増加は、主要受注先の輸出が好調であることが要因。安定した受注を確保できており、前年比増加を見込む。
- ・ウクライナ情勢の影響で、原油価格が高騰しており、利益率確保が厳しい。

(2) 建設業 景況感 【△15P <悪い> ↓】（前期比 12P）

前期と比べ、売上額【△18P】が6Pやや向上したものの、資金繰り【△27P】が、18P大幅に低下しました。収益、雇用人員は横這いです。

次期は、収益でやや向上が見込まれていますが、ほかの項目は、横這いの見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・一般住宅の建設数も回復傾向にあり、工事受注が増加している。雇用人員は適正。しかしながら、原油や原材料価格高騰の影響から利幅が減少、建築資材の仕入れが滞ることが懸念される。
- ・昨年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、予定していた工事のキャンセルが相次ぎ、売上が減少。今年は、コロナ前の水準に戻ってきている。

(3) 卸・小売業 景況感 【△6P <やや悪い> 】 (前期比 21P)

前期と比べ、売上額【△4P】が15P大幅に向上し、収益【△20P】も7Pやや向上しましたが、雇用人員【△33P】は8Pやや低下しました。

次期は、売上額、収益が大幅に向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・新型コロナウイルス感染症の感染が高止まり状態だが、顧客の動きが少しずつ始まっているように感じる。
- ・原材料・資材の調達は6～7割海外からで、原材料価格高騰の影響に伴い、仕入れコスト上昇を実感している。取引先の理解を得ながら販売価格を引き上げているが、全額は転嫁できず、利益減少の要因となっている。

(4) 不動産業 景況感 【0P <変わらない> 】 (前期比 0P)

前期と比べ、売上額【0P】、雇用人員【△21P】が、それぞれ15P、14P大幅に低下しました。

次期は、売上額が大幅に向上し、他の項目についてもやや向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・安定した状況が続いている。複数の仕入れ案件に期待が持て、前期以上の売上を見込む。
- ・米国や中国・東南アジアからの木材や電気設備の輸入コスト上昇で、物件の販売価格は高止まりである。仕入れ物件は依然として不足しており、物件に対する需要が高まっている。

(5) サービス業 景況感 【△23P <悪い> 】 (前期比 △7P)

前期と比べ、収益【△23P】が9P向上しましたが、資金繰り【△35P】、雇用人員【△29P】が、それぞれ13P、7P低下しました。

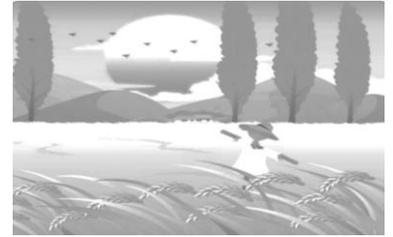
次期は、収益が大幅に向上し、売上額、資金繰りもやや向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・新型コロナウイルス感染症の行動制限の解除で、来店客は増加。しかし、感染拡大の報道があると、団体予約客のキャンセルが相次ぐことから、なかなか思い通りの集客とならない。原材料価格高騰の影響で、メニューの値上げを行った。
- ・行動制限の緩和により、ランチ・宿泊客共に戻り始めた。物価高騰の影響は、燃料・ガスが顕著であり、20%増。食材料に関して10%の値上がりがあり、この度価格の見直しを行ったが、収益に影響を及ぼしている。

DI値 調査結果

前・・・前期 令和4年4月～6月の景況感（調査時点 令和4年6月1日）
 今・・・今期 令和4年7月～9月の景況感（調査時点 令和4年9月1日）
 次・・・次期 令和4年10月～12月の景況感（調査時点 令和4年9月1日）



業種別調査企業数(回 業種別調査企業数 (回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	172	36	33	52	14	37
今期	162	35	33	46	14	34
次期	162	35	33	46	14	34

(単位：ポイント)

業種 項目	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
良い(A)	17	19	23	22	14	17	15	18	21	13	24	28	14	21	21	22	18	24
変わらず	49	49	53	56	57	54	43	49	52	47	46	52	72	58	65	40	41	50
悪い(B)	34	32	24	22	29	29	42	33	27	40	30	20	14	21	14	38	41	26
DI値(A)-(B)	△17	△13	△1	0	△15	△12	△27	△15	△6	△27	△6	8	0	0	7	△16	△23	△2
今-前/次-今	4	12		△15	3		12	9		21	14		0	7		△7	21	
売上額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
好転(A)	23	25	23	19	23	14	21	18	15	23	33	30	29	29	36	24	24	24
変わらず	39	42	54	39	46	57	34	46	55	35	30	50	57	42	50	44	47	55
悪化(B)	38	33	23	42	31	29	45	36	30	42	37	20	14	29	14	32	29	21
DI値(A)-(B)	△15	△8	0	△23	△8	△15	△24	△18	△15	△19	△4	10	15	0	22	△8	△5	3
今-前/次-今	7	8		15	△7		6	3		15	14		△15	22		3	8	
収益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
増加(A)	15	15	17	17	23	17	12	9	9	17	17	24	14	21	21	11	9	15
変わらず	44	52	58	39	48	46	46	55	64	39	46	56	72	58	65	46	59	61
減少(B)	41	33	25	44	29	37	42	36	27	44	37	20	14	21	14	43	32	24
DI値(A)-(B)	△26	△18	△8	△27	△6	△20	△30	△27	△18	△27	△20	4	0	0	7	△32	△23	△9
今-前/次-今	8	10		21	△14		3	9		7	24		0	7		9	14	
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
多い(A)	3	2	2	8	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	8	9	9
適正	68	63	64	53	63	63	67	61	64	75	67	67	93	79	86	62	53	53
少ない(B)	29	35	34	39	37	37	33	36	36	25	33	33	7	21	14	30	38	38
DI値(A)-(B)	△26	△33	△32	△31	△37	△37	△33	△33	△36	△25	△33	△33	△7	△21	△14	△22	△29	△29
今-前/次-今	△7	1		△6	0		0	△3		△8	0		△14	7		△7	0	
資金繰り	資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
余裕がある(A)	10	9	7	11	11	9	15	6	6	8	13	9	14	14	14	5	0	0
支障がない	68	63	69	67	60	62	61	61	61	69	61	74	86	79	86	68	65	71
苦しい(B)	22	28	24	22	29	29	24	33	33	23	26	17	0	7	0	27	35	29
DI値(A)-(B)	△12	△19	△17	△11	△18	△20	△9	△27	△27	△15	△13	△8	14	7	14	△22	△35	△29
今-前/次-今	△7	2		△7	△2		△18	0		2	5		△7	7		△13	6	

<参考> 昨年同期と現在の景況感比較(回答149社)

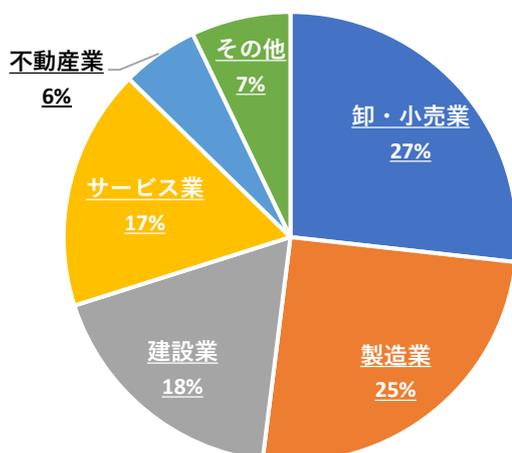
	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	31社	21%	26%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	73社	49%	39%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	45社	30%	35%
DI値(A)-(B)		△9P	△9P



横須賀市が行う年1回の特別調査です。

今回は『物価高騰による影響』、『人手不足への対応』、『情報収集』について調査しました。

【特別調査 回答企業】

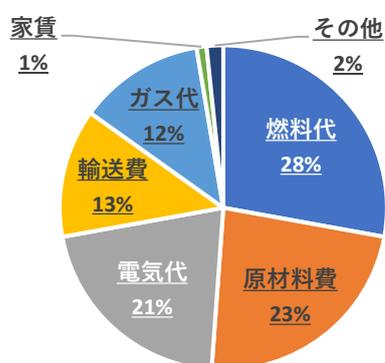


【その他の企業内訳】

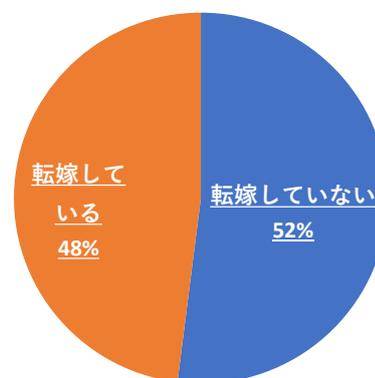
- ・運輸業
- ・船舶造修業
- ・廃棄物処理業
- ・古紙回収業

【1】物価高騰による影響について

【影響が大きいもの】



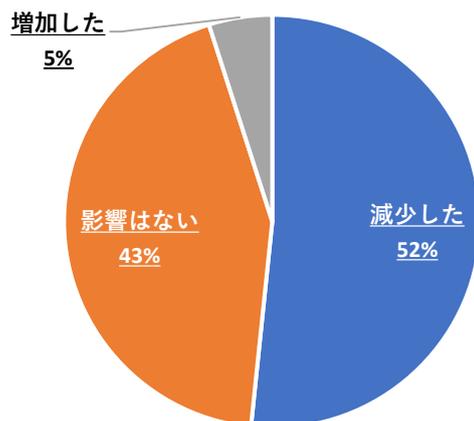
【販売価格への転嫁】



【販売価格に転嫁しない(できない)理由】

- ・他社との価格競争に負ける恐れがある。
- ・取引先に申し入れても一部しか認められない。
- ・競合他社がほとんど価格転嫁していない。

【物価高騰・円安による収益への影響】



【主な要因】

（減少した）

- ・原油の高騰
- ・原材料の高騰
- ・輸入商材の高騰による買い控え

（影響はない）

- ・会社全体としては費用上昇の影響を吸収できており、収益に変化はない。

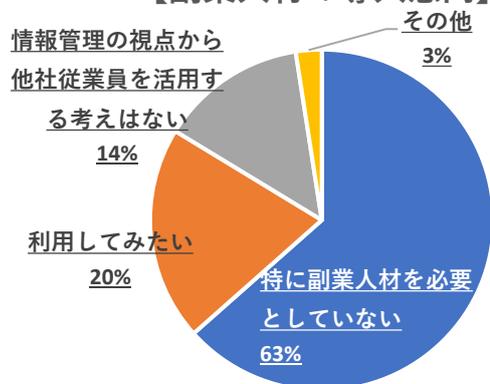
（増加した）

- ・影響は受けているが、売上増により全体収支としては吸収できている。

【2】人手不足の対応について

- ① 大企業を中心に従業員の副業が解禁され、専門的なスキルを持つ人材が副業として他社の業務に携わる動きについて

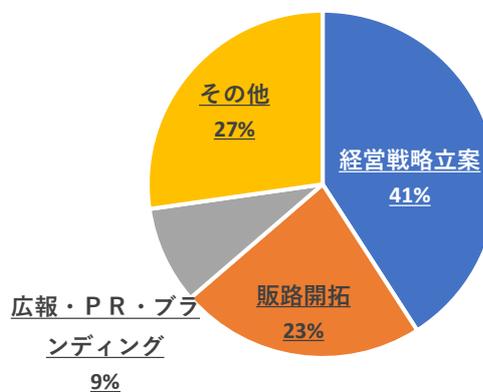
【副業人材の導入意向】



【必要としていない理由】

- ・専門的な事業内容のため、そぐわない。
- ・特殊商品につき、知識が必要。
- ・現在の利益では、活用は難しい。

【どのような分野で活用したいか】

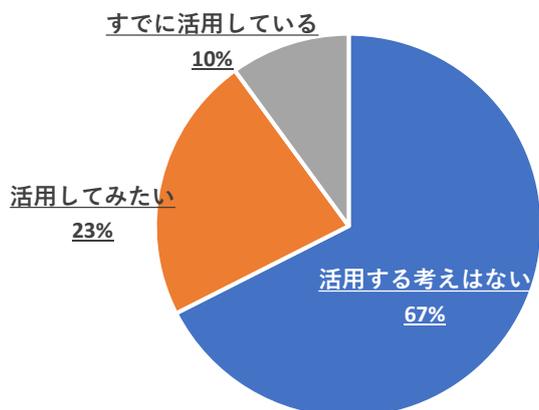


【その他の分野】

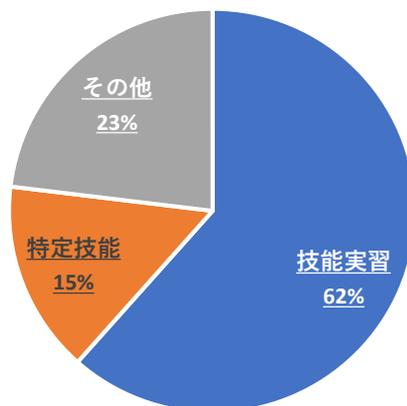
- ・補助的な業務
- ・現場作業員、ドライバー、顧客輸送
- ・顧客の運行管理業務
- ・店舗スタッフ販売員

② 「技能実習」「特定技能」などの外国人材の活用について

【外国人材の活用意向】



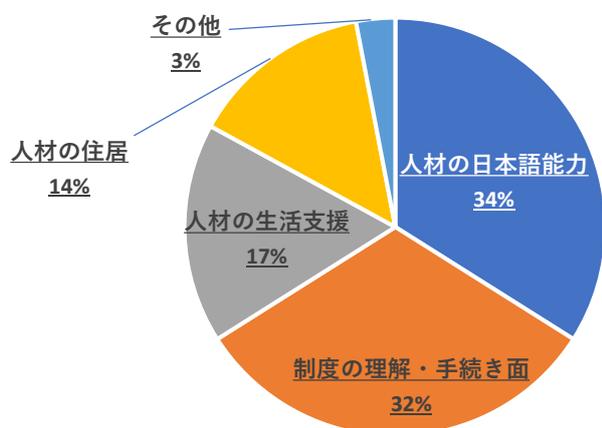
【活用している人材の在留資格】



【活用する考えはない理由】

- ・ 長期的な雇用ではないため。
- ・ 教育に時間がかかり、費用面でも負担が大きい。
- ・ 自社の業務内容には合わない。
- ・ 危険を伴う作業で意思疎通ができないと大変危険。

【外国人材の活用にあたり課題や不安】

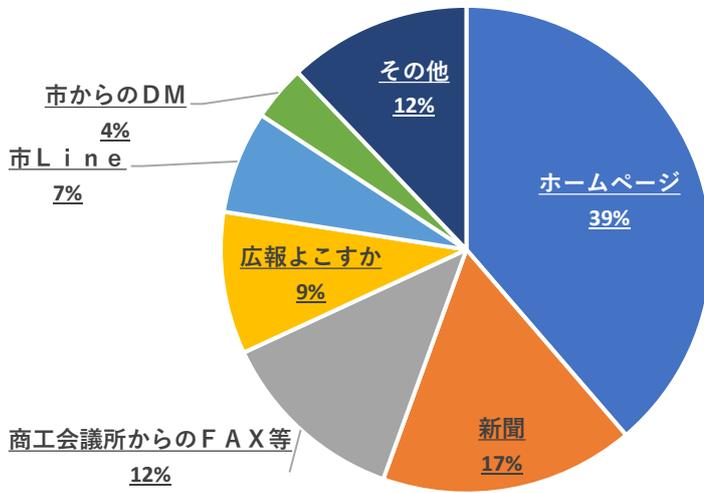


【その他の意見】

- ・ コスト面
- ・ 社会一般の事柄への関心度が低く、個人主義的な部分がある。
- ・ 若く優秀なため、不安は感じていない。

【3】 情報収集について

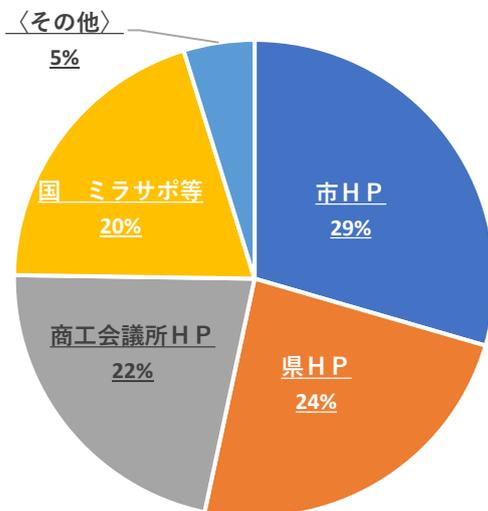
【情報収集の手段】



【その他の手段】

- ・ 会計事務所からのアドバイス
- ・ 金融機関からの情報
- ・ 同業他社、知人
- ・ 業界紙、メール等
- ・ 社労士、税理士
- ・ テレビ

【ホームページの種類】



【その他のホームページ】

- ・ SNS
- ・ 銀行・信用金庫のホームページ
- ・ 本社や本部のホームページ